

通所リハビリテーション(デイケア)のご案内

地域の皆様が、住み慣れた地域で、穏やかな生活ができるように、リハビリの専門職がリハビリを行います。

看護・介護等のスタッフが、ご利用者様お一人おひとりに合わせ、ウキウキわくわくするような時間を提供します。

プログラム

わくわくコース(6~7時間)

1. 送迎
2. 健康チェック
3. 個別リハビリ
4. 入浴
5. 集団体操
6. 口腔体操
7. 昼食
8. レク活動
9. リトミック
10. おやつ
11. 送迎

ウキウキコース(3~4時間)

1. 送迎
2. 健康チェック
3. 個別リハビリ
4. 入浴
5. 集団体操
6. 口腔体操
7. 昼食
8. 送迎

【施設見学のご案内】

見学時間：
平日13時15分
～14時15分

※施設全体の見学、デイケアの活動の様子等をご案内します。
※個別にお迎えも受付けています。
お気軽にご相談ください。

問い合わせ先：
デイケア担当相談員 青柳

地域公開講座のお知らせ

日時：令和5年10月28日(土) 14時00分～15時00分

場所：介護老人保健施設 いちいの杜 1階 大会議室

講師：施設長 西大條 文一

テーマ：私の介護体験

※ご参加希望の方は、当日直接会場へお越しください。予約は不要です。

編集後記

令和5年4月より徳洲会グループとなった事を地域の皆様にお伝えしようと、四苦八苦しながらも第一弾の広報誌がようやく出来上がりました。

今後もリアルタイムな『いちいの杜』をお届けできるように、職員一丸となり頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。取材や原稿作成にご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。
リハビリ 森田 努

問い合わせ先

介護老人保健施設 いちいの杜

〒196-0021

東京都昭島市武蔵野3丁目5-63

TEL 042-500-0151

FAX 042-500-1533



医療法人徳洲会 介護老人保健施設いちいの杜



広報

つばめ

2023.10 創刊号



施設長 西大條 文一

本年4月1日に着任しました施設長の西大條 文一です。

漢方医学の師、岡田研吉先生からご縁をいただき、素晴らしい自然に囲まれたこの「いちいの杜」がちょうど徳洲会グループに再編され、新しいスタートをきるのと同時に施設長を拝命しましたので、新鮮な気持ちで臨んでおります。

以下、簡単に自己紹介をさせていただきます。

東北大学在学中より石田名香雄教授の下で細菌学を研究し、卒業後は大学院で病院管理学を学びました。臨床は、祖父と両親から陶冶を受けました。昭和が終わる頃、イタリア政府国費留学生として、ミラノ大学に留学し、中世ルネサンスの医学医療、相互扶助兄弟団(健康保険組合の原型)の歴史を研究し、帰国後は、WHO から戻られた細菌学教室の恩師、梅内拓生先生の勧めもあって、感染症の検査を柱に開業し、HIVをはじめ、今日のコロナにいたる様々な感染症の検査と治療に従事、迅速検査法の普及と啓蒙を行ってきました。

しかしながら、10年ほど前、間質性肺炎の母を引きとって介護するため、「介護離職」し、24時間一日も欠かさず、介助・看護をすることとなりました。看取るまでの3年間、五里霧中で粉骨砕身しましたが、濃密で幸せな一秒一秒を共有できました。その得難い経験を老年医療に生かすことができたらと思い、近年まで新宿区の介護認定審査委員、療養型病院・老健施設医師などを勤めさせていただきました。

着任日に、原理原則に則って行動することを訓示申し上げましたが、よって立つべき支柱はやはり、ヒポクラテスの誓と、ナイチンゲールの精神でしょう。わかりやすく言うと、利用者様第一主義、衣食住便第一主義です。自然治癒力と新鮮な空気、散歩と食事、つまり医学にもまして重要なのは清潔で心地よい環境である、と要約できましょう。そこにこそ、ほほえみと、

やすらぎの楽園が具現され、スタッフの心のゆとりと“和”も生まれることと信じております。

金光弘先生が創設され、徳洲会に引き継がれたこの「いちいの杜」で、これまでの経験と知識を活かせるよう高い志を以て研鑽を続けるつもりでおりますので、地域の皆様と、スタッフの皆さんのさらなるご支援ご鞭撻の程を(この広報誌“つばめ”も共に)願い上げる次第です。



部署・職員紹介

総看護師長 樋口早智子



いちいの杜では、介護士約45名看護師13名で入所（短期入所も含む）通所リハビリテーションをご利用されている利用者様のケアをさせていただいております。日常のケアに加えて、音楽療法（リトミック）も取り入れ、利用者様の心身の活性化に取り組んでおります。施設内のスタッフと連携を取り、安全で安心して利用していただける施設を目指し日々努力しております。

今後は、地域の皆さまとも連携を取り、利用しやすい施設を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

相談部 課長 白田悦子



入所当初、在宅での生活をあきらめていたご家族も、生活リハビリで排泄や歩行などの動作が安定し、在宅生活を再開される方が多くいらっしゃいます。相談部は、医療、看護、介護、リハビリテーション、栄養まで、さまざまな専門職と連携を図り、いちいの杜でどのような生活を送っていらっしゃるか、どこまで出来るようになっていくか定期的にご家族にお伝えし、これからの生活を一緒に考えていきます。

本年4月より徳洲会グループの一員となりました。東京西徳洲会病院と連携を図り、ご利用しやすい施設となるよう努力して参ります。

事務長 齋藤 義徳



介護老人保健施設いちいの杜で事務長を拝命しております齋藤と申します。

当施設は開設より21年目を迎えた本年4月、徳洲会グループの一員として地域の皆様から信頼を得られるよう再出発をさせていただいたところです。

当施設では、明るく家庭的な雰囲気を重視し、利用者様が「にこやか」で「個性豊かに」過ごすことが出来るよう職員一同サービス提供に努めて参ります。

看護部看護師長 佐藤 幸恵



利用者様が健康で穏やかな日々を過ごせるように、多職種と協力し全身状態の観察、体調の管理、把握に努めます。

体調不良の際は、医師と相談し、病状が安定するよう看護に努めてまいります。

デイケア 介護主任 北藤まり子



デイケアの目的は身体機能維持や回復ですが、他者との交流や家族の方の介護負担の軽減といった役割も果たしています。

自宅で入浴するのが最近不安になったと感じている方は、是非安心して入浴ができるお風呂をご利用下さい。

レクリエーションでは職員と一緒に歌をうたったり、体を動かしたり楽しい時間を過ごしましょう。

いつまでも元気に楽しく過ごせるようにリハビリを行っていきましょう。

地域の皆様に愛されるデイケアを目指し、スタッフ一同地域の皆様のご利用をお待ちしています。

管理栄養士 高木 美樹



入所者様が美味しく安全に食べられるよう、個々の嚥下機能・嗜好に合わせた食事を提供し、調理師と共に創意工夫を行っています。

食事を楽しみにしている方が多くいらっしゃり、日々、皆様の声に耳を傾けて、リクエストにも応じています。

広報「つばめ」の由来



毎年5月になると、いちいの杜の正面玄関につばめの巣作りがはじまります。昔からの言い伝えで、つばめの巣を作る家は、繁盛するといわれ、とても縁起の良いこととされています。そしてつばめは、幸福を連れてくるといわれています。広報を通じて皆様に幸福が訪れますように願いながら制作したいと思います。

2階療養棟（認知症専門棟） 介護主任 齊藤 貴臣



2階療養棟は主に認知症の利用者様が生活しています。認知症により生活に支援が必要な方に対し、安心して安全に過ごせるような介護を行っています。介護士だけでなく医師・看護師・リハビリスタッフと協力し認知症ケアに努めています。

3階療養棟 介護主任 立野 里美



3階療養棟は多種多様な疾患をお持ちの方が病状の安定を図りながら生活されています。利用者同士で雑談されたり、リハビリを頑張っていたり、職員たちと共に笑顔で過ごしています。これからも利用者が安心して生活を送れるように日々精進して参ります。

リハビリテーション部 係長 徳岡 美鈴



現在、理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名が在籍し、入所、デイケア、ショートステイのリハビリを行っています。

ご本人やご家族の希望や困り事を聴いて、専門的な評価のもと1人1人に合ったプログラムを作成し、実施します。

リハビリスタッフ一同、利用者様が目標に向かって頑張る支えになり、ときには心穏やかに過ごす癒しとなるように、真心で取り組んでいます。